

2025年度第4回西日本放送番組審議会

開催年月日 2025年7月8日（火）14:00～16:00
開催場所 西日本放送岡山本社 3階会議室
委員の出欠 委員総数 8名
出席委員数 5名

出席委員の氏名

西	原	義	一	委員長
佃		昌	道	委員
森	下	聖	史	委員
大	林	伸	二	委員
小	田	英	城	委員

欠席委員の氏名

岡	田	佳	子	委員
古	市	聖	一郎	委員
三	好	千	尋	委員

社側の出席者

中	村	卓	朗	（代表取締役社長）
竹	内	陽	一郎	（取締役営業統括 業務推進局長）
和	家		剛	（執行役員報道制作局長兼香川報道制作部長（制作担当））
久	保	和	照	（岡山本社中国総支社長兼営業部長）
吉	田		剛	（香川報道制作部長）
沼	本	友	紀	（香川報道制作部）

事務局

十	鳥	真	理	（編成業務部長兼放送審議室長）
住	吉		剛	（編成業務部兼放送審議室）
山	本	峰	子	（放送審議室）

2025年度第4回番組審議会議事次第

開催日 2025年7月8日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

〔議 事〕

議事進行 西原義一委員長

社側挨拶 代表取締役社長 中村卓朗

1. 議 題 テレビ番組

『NNNドキュメント' 25

つなぐ絵筆 祖父と孫娘のシベリア』

2. 質疑応答

〔参考資料〕

- タイムテーブル 夏号
- 視聴者対応 5月
- BPO報告 No.278

〔次回開催予定〕

開催日 2025年9月9日（火）14:00～16:00

場 所 西日本放送岡山本社 3階会議室

TEL 086-244-0111

議 題 テレビ番組

『いちたま！！～教育を嫌い、教育を愛する人へ～』

放送日 2025年8月25日（月）15:50～16:20

制 作 RNC西日本放送テレビ

以上

【議事概要】

今回は、テレビ番組『NNN ドキュメント‘25 つなぐ絵筆 祖父と孫娘のシベリア』を視聴していただきました。

委員からは、お祖父さんの思いを今に伝える番組というか、改めて戦争を考えさせられる番組だった。番組は2度見たが、心動かされるものがあったので、パーフェクトに構成されているように思う。

自分はシベリア抑留を体験していないのに、そういう絵を描き続けていいんだろうかということだったが、シベリアへの遺骨収集のシーンは訴えるものがあった。

何よりもシベリアということをもう一度考えることが30分という時間の中できちんと出来ていたことと、比較的しっかりと静かに番組が進んでいった点は非常に良かったと思う。

番組は全体的に本当に良かったが、やはり時間軸のところが少し違和感があった。

取材は多岐にわたり、歴史的事実だけでなく、絵に込められた、「祈り」や「願い」までもが丁寧に掘り起こされていたように感じた。との意見がありました。

担当者からは、貴重なご意見とご指摘をありがとうございました。

まずご指摘のあった時間軸に関してですが、川田さんや千田さんの思いをどうにかして伝えたいという思いで構成した結果があのような形になってしまいました。いい方法を考えたいと思います。

今回の番組に関してですが、私は今、40代ですが、満州からの引揚者だった祖母からいろいろと話を聞きました。たぶんそういう話を直接聞いたのは私世代ぐらいまでかなと思います。番組の中で、千田さんは戦争を経験していない私が描いていいのか自問自答していましたが、それは私自身も同じです。取材を始めた20代の頃は、若いお前に何がわかると、企画を出す度に言われていたのですが、千田さんも周囲から同様の指摘を受けていたようです。結局話を聞いただけ

の私たちの世代が何を伝えられるのだろうか。そういうことを考え続けた14年間でした。千田さんと抱える悩みを私も抱えていました。でも、仲井さんの言葉で千田さんも私も背中を押されました。ですから、川田さんの作品も伝えたいのですが、最後の仲井さんの言葉もとても伝えたいものでした。私たちの世代が伝えていかないと、この戦争の記憶は消えていくことを伝えたかったのがこの番組の大きなメッセージです。との回答がありました。